

事務事業評価表

○基礎情報

課名		社会教育課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	5	自分を見つめ、地域を見つめる社会教育と文化財保護を推進する	石井 亨	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				2 人	9 人	1 人	4 人	10 人	3,421 時間	31.7 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	3次実施計画の 現状値	目標値 (30年度)	実績値			
			26年度	27年度	28年度	29年度
社会教育主催事業・イベントの参加者数	46,223人	49,000人	47,107人	48,593人	48,282人	42,918人
文化財の指定件数	41件	47件	43件	45件	43件	43件
0	0.0%	0				

(評価の見方)

- ・ S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ Z 未着手事業(中核市関連のものを含む)
- ・ 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実績のないものを含む)

2 事業実績(平成29年度)

No.	事務事業名 (第3次実施計画)	事務事業の目的・目指すべき成果・効果 何を・誰を どうやって働かか どうしたいか(生ま (対象) け(手段・方法) れる成果・効果)	Plan / Do								総合評価 (Check)					Action	
			事業 性質	従事 者数	会計 区分	H28予算(円) H28決算(円)	H29予算(円) H29決算(円)	事務事業の指標名	H29目標値	H29実績値	評価	取組 時間	見直し検 討可能性	業棚 選定	休・ 廃止		
1	社会教育嘱託員の 処遇の見直し	社会教育嘱託員の処遇を見直すことにより、 社会教育課、公民館、青少年会館の嘱託員の 資質の向上や平準化が図れる。	政策	0.00	一般	0 0	0 0	見直し結果の推進状況	要綱・例規の改正 (12月まで)	非常勤特別職の新 たな任用制度にシフ トしたため	実績 なし	減少					
2	下寺尾遺跡群(七堂 伽藍跡・高座郡衙) 保存整備事業	国の指定史跡として適切に保存管理し、後 世に継承するとともに、重要な地域の遺産と して教育や地域振興等に公開し活用する。	政策	1.60	一般	67,912,497 65,120,846	78,364,000 73,181,706	事業の進捗状況	活用整備計画の策 定	活用整備計画の検 討	A	増加					
3	文化資料館移転整 備及び周辺地整備 事業	(仮称)歴史文化交流館を整備し、文化資料 館の機能を移転し、茅ヶ崎の自然と歴史・文 化を知り学ぶ教育機会を提供するとともに地 域振興に資する。	政策	1.15	一般	23,125,000 21,840,000	232,951,000 100,379,728	事業の進捗状況	実施設計・周辺地整 備工事・用地取得	実施設計・周辺地整 備工事・用地取得	S	増加					
4	「ちがさき丸ごとふる さと発見博物館」運 営体制の構築	市民が得意分野や愛するものを生かして活 躍できる、持続活性型の常設的運営体制を 構築する。	政策	0.27	一般	0 0	0 0	拠点の設置と運営	拠点の運営開始 駅前以外の拠点設 置場所の検討、決定	企画展「松林丸ごと 博物館」を通じた拠 点実験の実施	S	増加					
5	「ちがさき丸ごとふる さと発見博物館講 座」の動画配信およ び事業PR	「住まう茅ヶ崎を1から知る」をテーマに開催 している、ちがさき丸ごと博物館講座を、い つでもどこでも受講できるようにし、茅ヶ崎を 知る機会をすべての市民に開く。	政策	0.24	一般	3,240,000 3,240,000	3,300,000 3,300,000	配信講座数	10講座	10講座	S	変動 なし					
6	都市資源データベー スの導入の検討	市民が、市内の都市資源を調べ、学び、 データを蓄積する。	政策	0.21	一般	45,000 11,102	40,000 39,804	都市資源データベース の導入	運営	運営の検討	C	減少					

7	旧相模川橋脚保存 活用事業	国指定の史跡であり天然記念物である旧相模川橋脚を適正に管理し、公開に適した状態を保つ。	政策	0.38	一般	747,000 745,732	770,000 769,036	清掃等管理	保存管理計画の作成	再整備計画策定時に保存管理計画の作成をシフトしたため	実績 なし	変動 なし			
8	鶴嶺八幡参道文化 財整備事業	鶴嶺八幡参道について知ることができる歴史ひろば(ポケットパーク)を適正に管理し文化財の周知に役立てる。	政策	0.40	一般	40,000 39,960	40,000 39,960	歴史広場の除草・清掃	1カ所／年	1カ所／年	S	変動 なし			
9	堤貝塚保存用地整備 事業	堤貝塚保存用地を借上げ、適切な保存・管理を行う。	政策	0.32	一般	124,000 124,000	124,000 124,000	除草作業	整備	除草作業(年2回)	S	変動 なし			
10	市指定重要文化財 旧和田家・旧三橋家 保存整備事業	市指定重要文化財である近世の民家を適切に保存し、市民(国民)に公開・活用し、次世代に継承する。	政策	0.42	一般	0 0	16,629,000 15,865,200	文化財調査の実施と保存方法の検討	保存・活用方法の決定・調査に基づく維持管理・保存補修	耐震診断調査実施・診断結果に基づく保存活用方法の検討	S	増加			
11	文化財収蔵施設の 整備事業	不足している文化財の収蔵施設を確保し、適切な保存・活用を可能にする。	政策	0.59	一般	0 0	0 0	適正な保管場所の確保	保管施設の賃借	市外・県外を含めた貸倉庫の検討	A	変動 なし			
12	社会教育関係団体 への支援	社会教育関係団体を支援し、団体活動の活性化を図る。	定例 定型	0.26	一般	208,000 207,200	208,000 207,200	支払時期	6月	6月	S	変動 なし	●	●	
13	社会教育関係職員 及び審議会委員等 の研修事業	社会教育施設の職員や嘱託員、審議会委員への研修を実施し、資質の向上を図る。	定例 定型	0.38	一般	1,747,000 1,623,542	1,727,000 1,621,129	研修会の回数	年5回	年6回(116人)	S	変動 なし			
14	社会教育講座の開 催	現代的課題や地域課題を捉えて講座を実施することにより、学習活動のきっかけと課題解決の一助とする。	定例 定型	0.51	一般	201,000 171,550	175,000 163,525	講座開催回数	年3回	年3回(84人)	S	変動 なし			
15	PTA研修会の開催	PTAの広報委員や役員への研修を行い、PTA活動の活性化を図る。	定例 定型	0.18	一般	80,000 90,000	100,000 100,000	研修回数	年2回	年2回(219人)	S	変動 なし			
16	社会教育委員に関 する事務	社会教育委員が調査・研究をすることにより、本市の社会教育の効果的な実践に寄与する。	定例 定型	0.49	一般	814,000 705,160	821,000 779,280	会議回数及び研修会の 回数	年14回	年15回	S	変動 なし			
17	社会教育施設とし ての公民館のあり方 の研究	社会教育主事会を開催し、社会教育や公民館について研究し、職員研修も実施する。	定例 定型	0.25	一般	0 0	0 0	会議回数	年12回	年13回	S	変動 なし			
18	社会教育課事業の まとめ誌の発行	社会教育課が所管する事業を取りまとめ、市民に報告する。	定例 定型	0.43	一般	0 0	0 0	発行回数	年1回	年1回	S	変動 なし			
19	市指定重要文化財 旧和田家・旧三橋家 管理運営事業	市指定重要文化財である近世の民家を適切に保存し、市民(国民)に公開・活用し、次世代に継承する。	定例 定型	0.35	一般	8,794,256 8,674,961	8,699,583 8,650,890	継続的な利用の促進 (来館者の維持)	9,000人	6,931人	A	変動 なし			
20	ちがさき丸ごとふるさと 発見博物館事業	市民と行政が協働して市内の都市資源を調査、保護、活用し、様々な活動を通じ地域づくりに貢献する。	定例 定型	0.89	一般	895,000 890,095	775,000 622,714	ちがさき丸ごとふるさと 発見博物館講座の実施 回数	2回	2回	S	変動 なし			
21	遺跡調査資料整理・ 保存事業	埋蔵文化財の調査研究をし、調査結果の周知を行う。	定例 定型	0.78	一般	4,375,000 3,541,991	4,103,000 3,488,809	遺跡調査発表会の開催	年1回	年1回	S	増加			

[illegible]

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check)／今後の展望(Action)	
<p>「1 施策指標と実績(Do)」については、「社会教育主催事業・イベントの参加者数」が、平成29年度に減少しているが、香川公民館での公民館まつりが天候不良により中止となったことが主な理由である。(香川公民館まつりの参加者は、平成28年度は約5,245人)</p> <p>「2 事業実績(平成29年度)」については、社会教育課の事業数は、「災害応急対策活動」「庁内共通事務」を除き32事業である。これらを指標の達成度及び事業の実施効果から見ると、最も多かったのは「S」の25事業あり、「A」は4事業、「C」は1事業、「実績なし」が2事業あった。</p> <p>このことから、概ね計画通りに事業を遂行しており、成果を出していると見ることができる。C評価となった「都市資源データベースの導入の検討」については、公開・運営の手法の検討までとなったが、引き続き検討を行い、公開し運営していくことで成果が見込めると考える。</p> <p>実績なしの評価となった「社会教育嘱託員の処遇の見直し」については、現制度での見直しではなく、平成32年度に改正される非常勤職員の任用制度にシフトし、従事者数は0.00人となった。「旧相模川橋脚保存活用事業」については、再整備計画策定時に保存管理計画を作成することにシフトし、目標値に対する実績はなしとなったが、管理上必要な清掃等管理業務を行ったため、従事者数0.38人となった。</p> <p>事業手法については、委託や非常勤職員・臨時職員による対応を取り入れて成果を上げており、職員の時間外勤務時間は、総時間で3,012時間、一人当たり換算すると月平均25.1時間であり、前年度の総時間4,037時間、一人当たり平均36.7時間と比べ減少となっている。引き続き、各事業の事務の効率化や職員間の連携を常に意識し、日々改善に努める必要があると考える。</p>	

4 見直し検討可能性にチェックの入った事業のうち休・廃止検討事業

No.	事務事業名	休・廃止検討の理由
-	-	-
-	-	-

5 働きかたの見直しにおける取組結果(28-29年度の2か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

No.	事務事業名	取り組みの結果
-	-	ノー残業デーには、朝礼等でノー残業デーである旨を課員に伝え、意識付けを行うことにより、徹底を図った。その結果、時間外勤務時間が、28年度と比較して、593時間(約15%)減となった。
-	-	-